

災害時における視覚障害者に対する支援のお願い

【作成：高知県立盲学校 児童生徒一同】

1 視覚障害者の見え方について

視覚障害には、見えない「全盲の人」と、見えにくい「弱視の人」がいます。さらに、弱視の人の見え方は一人一人異なり、日常の行動からは、視覚障害者であると理解されにくい場合があります。下の写真は視覚障害者の見え方の一例です。

★ 通常の見え方



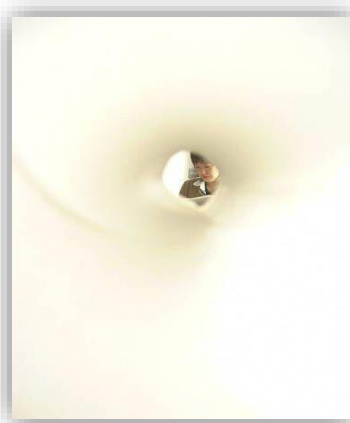
★ 白濁



★ 中心暗転



★ 視野狭窄



2 手引きについて

避難所の体育館など、広い場所や初めての場所での移動が、視覚障害者は苦手です。物や壁にぶつからないように、見える方の腕や肩につかまり、手引きをお願いすることでスムーズに移動できます。また手引きの前には「何かお手伝いしましょうか？」等の声をかけてもらえると私たちも安心できます。

手引きの仕方

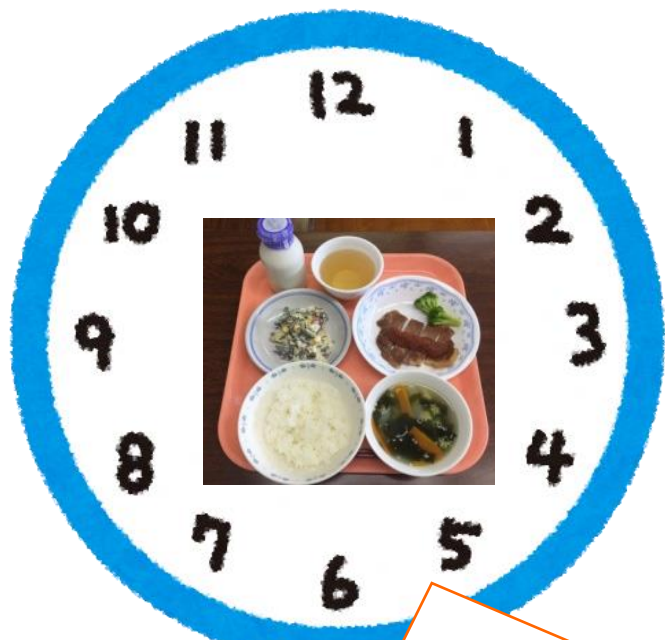
- ・ ひじか肩を貸してください。
- ・ 半歩前を歩く。
- ・ 二人分の幅を確保。

狭い通路でも、両肩につかまらせてもらえば、一人分の幅で移動できます。



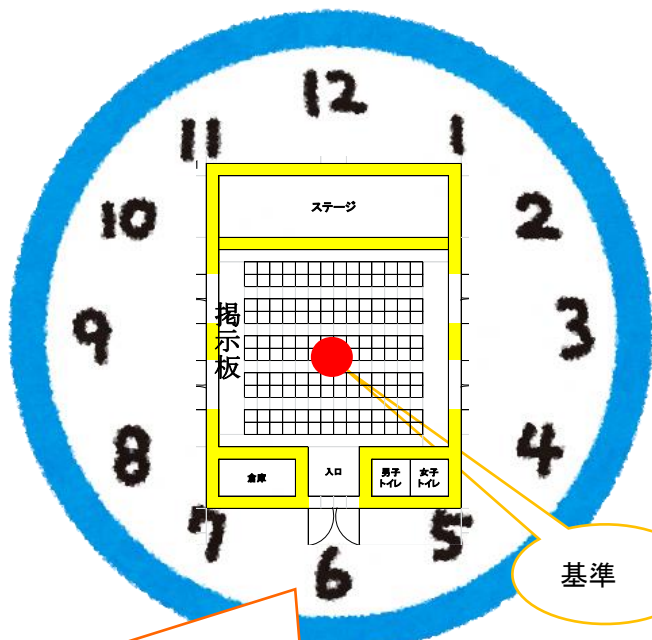
3 クロックポジションによる位置説明の仕方

避難所でトイレや掲示板の位置を説明する際、クロックポジションによる説明が便利です。クロックポジションとは、部屋や施設、または卓上の位置関係を説明する際、時計の文字盤に置き換え、12方向で示す方法です。



卓上の位置説明

(例) 7時の位置にご飯、11時の位置に牛乳、12時の位置にお茶、2時の位置にポークソテー、4時の位置にスープがあります。



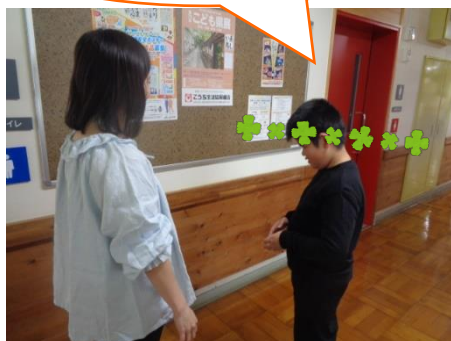
体育館で視覚障害者を針の中心（基準）にして位置関係を説明。

(例) 6時の方向に出入り口、9時の方向に掲示板、5時の方向にトイレがあります。

4 掲示物の代読のお願い

避難所では、生活していく上でのルールなど、頻繁に掲示物が貼り出されます。視覚障害者は貼り出されたことも書かれている大切な情報にも気づかないことが多いです。掲示物が貼り出された時に内容を教えていただけると大変助かります。

掲示板に何か新しい情報は貼り出されていませんか？



～について書いてある掲示物を読んでいただけますか？



まず、項目から読みますね。